

### 3 総合子ども学科 3年次

	講 義 名	開講時期・単位数	
		前 期	後 期
保育士養成課程 選 択 必 修 科 目	地域援助論	2	
	保育臨床心理学		2
	保育カウンセリング概論	1	
	教育課程総論	2	
	視聴覚教育	2	
	保育実習指導Ⅱ	1	
必 修 科 目	教育実習指導Ⅰ		2
	キャリアデザインⅡ		1
	ゼミナールⅠ		1
選 択 科 目	児童厚生概論		1
	保育あそび論	1	
	創作うたあそび		1
	国語	1	
	運動生理学		1
	リズム・ダンスあそび	1	
	運動あそび	1	
	幼児の野外活動 [集中講義]	1	
	音楽表現	1	
	保育表現技術・ピアノⅤ	1	
	保育表現技術・音楽リズム		1
	保育表現技術・ピアノⅥ		1
	教材造形基礎		1
	造形演習Ⅱ	1	
	子どもと物語		1
レクリエーション論		1	
	クラスルームⅢ a・Ⅲ b	1	1
	併修学習Ⅲ a・Ⅲ b	1	1
合 計 単 位 数		18	16
		34	

科 目	地域援助論	講 師	久利 要子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域に暮らす人々の生活に目を向ける。</li> <li>・ 社会福祉法に掲げられた地域福祉推進の理念について理解する。</li> <li>・ 地域に向けた援助実践の支えとなる諸理論について学ぶ。</li> <li>・ 現場の取り組みから、援助の実際について学ぶ。</li> <li>・ コミュニティ・ワーカーとしての保育士の役割について考える。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 孤立化が進む社会・子どもの貧困</li> <li>2. 地域福祉推進の理念～社会福祉法から～</li> <li>3. 地域における子育て支援</li> <li>4. 地域福祉の担い手・推進機関とその役割</li> <li>5. ソーシャル・サポート・ネットワーク</li> <li>6. エコマップの活用</li> <li>7. 施設の社会化とは</li> <li>8. バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進</li> <li>9. 地域福祉における利用者保護の取り組み</li> <li>10. 福祉教育の意義と実践</li> <li>11. 地域福祉計画とは</li> <li>12. 現場の実践例から学ぶ①</li> <li>13. 現場の実践例から学ぶ②</li> <li>14. 現場の実践例から学ぶ③</li> <li>15. 試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 法	出席および受講態度、レポート、試験による総合評価		

科 目	保育臨床心理学	講 師	山本 良
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分や他者の「こころ」を体験的に捉え、自己理解や他者理解を深める。</li> <li>・ 子どもの「こころ」を理解し、「こころ」の問題の表れ方を学ぶ。</li> <li>・ 「子どもや保護者に対してどう向き合うべきか。」という課題に対して、自ら検討し考える力を養う。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 「こころ」に触れるワーク①</li> <li>3. 保育現場における臨床心理学的視点</li> <li>4. 子どもの「こころ」と「からだ」の成長①</li> <li>5. 子どもの「こころ」と「からだ」の成長②</li> <li>6. 子どもの成長と発達課題</li> <li>7. 「こころ」のアセスメント</li> <li>8. 「こころ」に触れるワーク②（性格検査体験）</li> <li>9. 子どもの「こころ」の問題①</li> <li>10. 子どもの「こころ」の問題②</li> <li>11. 大人の「こころ」の問題</li> <li>12. 事例研究①</li> <li>13. 事例研究②</li> <li>14. まとめ</li> <li>15. 試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……使用しない</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 法	出席状況、受講態度、試験等による総合評価		

科 目	保育カウンセリング概論	講 師	東郷 結香
授業目標	<p>カウンセリング技法を学び、習得することによって、以下のことが実践できる力を養う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どものこころに触れ、内面的な発達を支える</li> <li>2. 問題を抱えた子どもを支える</li> <li>3. 保護者に対する子育て支援</li> <li>4. 保護者間の連携力の向上</li> <li>5. 自らのコミュニケーション力の見直しと向上（アサーショントレーニング）</li> </ol>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. カウンセリングとは、演習</li> <li>3. カウンセリングマインド、演習</li> <li>4. カウンセリングの理論</li> <li>5. レポート指導</li> <li>6. 保育とカウンセリング(1)</li> <li>7. 保育とカウンセリング(2)</li> <li>8. レポート指導</li> <li>9. 演習(1)</li> <li>10. 演習(2)</li> <li>11. 演習(3)</li> <li>12. レポート指導</li> <li>13. 事例研究(1)</li> <li>14. 事例研究(2)</li> <li>15. レポート指導</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<p><b>教科書</b>……『臨床心理学講義—実習を通して学ぶ』朱鷺書房</p> <p><b>参考書</b>……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	出席状況、授業やレポートへの取り組み姿勢を総合して評価する		

科 目	教育課程総論	講 師	水引 貴子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育所および幼稚園での保育・教育課程を理解し、自分の言葉で説明できる。</li> <li>・ 保育・教育課程の歴史の変遷を学び、現代の保育・教育を多角的に捉えられる。</li> <li>・ 保育の計画と展開を学ぶ中で、保育者の役割を考えられる。</li> <li>・ レポートとは何かを理解し、レポートを作成するうえでのルールを身につける。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション、保育施設とは</li> <li>2. 幼児の教育課程</li> <li>3. 教育課程・保育課程と指導計画</li> <li>4. 保育の展開と保育者の役割</li> <li>5. 保育内容とカリキュラムの変遷①明治期～昭和前期</li> <li>6. 保育内容とカリキュラムの変遷②戦後～現代</li> <li>7. これからの保育・教育課程、レポート出題</li> <li>8. 中間まとめ</li> <li>9. 保育内容と指導計画の実際</li> <li>10. 指導計画を書いてみよう①長期計画</li> <li>11. 指導計画を書いてみよう②短期計画</li> <li>12. レポート指導</li> <li>13. 保育の評価</li> <li>14. まとめ・試験対策</li> <li>15. 試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<p><b>教科書</b>……生田貞子／水田聖一編（2010）『保育実践を支える保育内容総論』福村出版</p> <p><b>参考書</b>……厚生労働省（2008）『保育所保育指針解説書』フレーベル館 文部科学省（2008）『幼稚園教育要領解説』フレーベル館</p>		
評 価 の 方 法	出席（リアクションペーパー）、芸大提出レポート、授業態度、試験による総合評価		

科 目	視聴覚教育	講 師	菅野 清子
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>子ども達に伝える手段の方法として「見る、聴く」など、多くの影響を与える、視聴覚教育について、学習する。</li> <li>子ども達とのコミュニケーションの方法や技術など、表現力が身につくようになる。</li> <li>具体的な視聴覚教材を作ることの楽しさを体験し、実践することで喜びを感じることができる。</li> </ol>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>オリエンテーション はじめまして！こんにちは！ 伝えてみよう！自分のこと（自己紹介）</li> <li>視聴覚の種類と与える影響 子どもの反応・効果</li> <li>視聴覚教材① 絵本の読み聞かせ 体験 演習 実践</li> <li>視聴覚教材② 紙芝居の体験 演習 実践</li> <li>視聴覚教材③ パネルシアターの体験</li> <li>視聴覚教材④ パネルシアターの演習 実践</li> <li>視聴覚教材⑤ エプロンシアター ペープサート 人形劇 おはなし</li> <li>視聴覚教材を作ってみよう①</li> <li>視聴覚教材を作ってみよう②</li> <li>視聴覚教材を作ってみよう③</li> <li>演じてみよう① 自ら選択した視聴覚教材を実演する。</li> <li>演じてみよう② 自ら選択した視聴覚教材を実演する。</li> <li>演じてみよう③ 自ら選択した視聴覚教材を実演する。</li> <li>演じてみよう④ 自ら選択した視聴覚教材を実演する。</li> <li>まとめとふりかえり</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……特に指定なし <b>参考書</b> ……『実習に役立つパネルシアターハンドブック』古宇田亮順編、萌文書林 他 随時紹介		
評 価 の 方 法	授業への取り組みや態度30% 教材制作30% 実演40%		

科 目	保育実習指導Ⅱ	講 師	渡邊 眞理
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2年次で経験した保育実習、施設実習の振り返りと反省をし、次回への課題をみいだす。</li> <li>・ 3年次の保育実習に向け、指導計画、保育技術の見直し、向上に1人1人問題意識、目的意識を持ち意欲的に学び実践につなぐ。</li> <li>・ 実習で記載したノートの分析と記入を今一度、考察し実践につなぐ。</li> <li>・ 責任実習での指導案の立案、保育者と子どもの適切なかかわりなど、発達やあそびをグループワークにとり入れながら学ぶ。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>オリエンテーション</li> <li>保育実習1回目の振り返り①</li> <li>〃 ②</li> <li>実習マナーと身だしなみ、一般常識の振り返り</li> <li>責任実習とは……</li> <li>〃 ①目標と課題テーマ</li> <li>〃 ②部分実習</li> <li>〃 ③指導案（日案）</li> <li>〃 ④ 〃</li> <li>〃 ⑤ } 責任実習の実際</li> <li>〃 ⑥ }</li> <li>〃 ⑦ }</li> <li>〃 ⑧ }</li> <li>〃 ⑨ }</li> <li>〃 ⑩まとめ</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『保育所保育指針』 <b>参考書</b> ……『教育・保育・施設実習の手引』建帛社		
評 価 の 方 法	平常点、提出物、実技発表などの総合評価		

科 目	教育実習指導 I	講 師	中西 和子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園について理解する</li> <li>・ 幼稚園の教育目標・保育方法について学ぶ</li> <li>・ 教育課程・指導計画を踏まえ、幼稚園の生活を知る</li> <li>・ 指導計画作成についての知識を習得する</li> <li>・ 指導計画を立案し、実施し、実践力を高める</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス</li> <li>2. 幼稚園の法的な枠組み</li> <li>3. 幼稚園の教育目標・保育方法</li> <li>4. 教育課程・指導計画</li> <li>5. デイリープログラム</li> <li>6. 保育環境見学</li> <li>7. 保育観察演習</li> <li>8. 保育参加演習</li> <li>9. 部分実習指導計画案の作成と演習(1)</li> <li>10. 部分実習指導計画案の作成と演習(2)</li> <li>11. 指導計画立案（グループワーク）</li> <li>12. 指導計画模擬実践</li> <li>13. 指導計画模擬実践の振り返り・相互評価・改善</li> <li>14. 責任実習指導計画案の作成(1)デイリープログラムを踏まえて</li> <li>15. 責任実習指導計画案の作成(2)指導のねらい・環境設定・援助を考慮して</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『指導計画の作成と保育の展開』フレーベル館  <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況（無断欠席不可）、受講態度、提出物、発表、試験等による総合評価		

科 目	キャリアデザインⅡ	講 師	井守 知義
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就職活動に向けて基礎的準備をします。</li> <li>・ マナーと常識について学びます。</li> <li>・ 先輩から就職活動の裏技を学びます。</li> <li>・ 面接試験に向けてスキルアップをします。</li> <li>・ 履歴書記入のノウハウを学びます。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 進路指導のガイダンス。作文「学校生活を振り返って」</li> <li>2. 自己PRについて。キャリアカードの更新。就職希望調査。</li> <li>3. 就職ガイダンス①（就職に向けて、キャリアデザインセンターの利活用、ビジネスマナー等）</li> <li>4. 就職ガイダンス②（公共機関の利活用、就職フェアについて、求人票の見方等）</li> <li>5. キャリアモデルから学ぶ（卒業生を招いての懇談会）</li> <li>6. 人事採用担当者から学ぶ企業研究①</li> <li>7. 人事採用担当者から学ぶ企業研究②</li> <li>8. 人事採用担当者から学ぶ企業研究③</li> <li>9. 面接試験に向けての心構え（入退出、自己紹介、服装、面接等）</li> <li>10. 自己アピールワークシート作成</li> <li>11. 模擬面接①</li> <li>12. 模擬面接②</li> <li>13. 模擬面接③</li> <li>14. 模擬面接④</li> <li>15. 模擬面接⑤</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……特に指定なし  <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席率、提出物、受講態度により評価します		

科 目	ゼミナール I (ボーカルゼミ)	講 師	木下 裕子
授業目標	<p>様々なジャンルの楽曲（童謡・唱歌、フォークソング、J ポップ、ゴスペル、外国語曲等）を通して、保育指導に役立たせる音楽能力を各人が開発していきましょう。 また、追いかけて歌（カノン）や合唱曲を通し、ハーモニーの楽しさを実感しましょう。</p>		
授業の画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 各自の興味のある楽曲について</li> <li>3. 各自の課題と共通課題の検討</li> <li>4. 演習①</li> <li>5. 演習②</li> <li>6. 演習③</li> <li>7. 演習④</li> <li>8. 演習⑤</li> <li>9. 演習⑥</li> <li>10. 演習⑦</li> <li>11. 演習⑧</li> <li>12. 演習⑨</li> <li>13. 個別発表</li> <li>14. 共同発表</li> <li>15. 振り返りとまとめ</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし 参考書……特に指定なし</p>		
評価の 方 法	出席と受講態度、個別発表、共同発表の成果による		

科 目	ゼミナール I (社会福祉ゼミ)	講 師	熊崎 有香
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼミメンバーの興味・関心があるテーマについて調べ、情報共有し、幅広い知識を身に付ける。</li> <li>・調査方法をメンバーで討論しながら進めていくことで、自発的学習に繋げていく。</li> <li>・施設見学を通して、現場に触れる機会を設ける。</li> <li>・現場職員をゲストスピーカーとして招き、現場の声を直接聞くことで福祉現場の現状理解を深める。</li> <li>・様々な事例を扱い、卒業論文のテーマを見つけていく。</li> </ul>		
授業の画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自己紹介</li> <li>2. ゼミのテーマ決め①</li> <li>3. ゼミのテーマ決め②</li> <li>4. テーマに対する調査方法の検討・予定確認</li> <li>5. 進捗状況報告</li> <li>6. 調査報告①</li> <li>7. 調査報告②</li> <li>8. 事例検討①</li> <li>9. 事例検討②</li> <li>10. 事例検討③</li> <li>11. 事例検討④</li> <li>12. 事例検討⑤</li> <li>13. 事例検討⑥</li> <li>14. 事例検討⑦</li> <li>15. 休み期間の課題について</li> </ol> <p style="margin-left: 150px;">} この期間で施設見学を入れる</p>		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし 参考書……適宜指示</p>		
評価の 方 法	出欠席、レポートなどの総合評価		

科 目	ゼミナール I (保育実践ゼミ)	講 師	鈴木 八重子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが楽しめる保育教材の制作・発表を通して子どもの年齢や人数にあった演じ方を知り、身につける。</li> <li>・各自の興味、関心をもったテーマを取り上げ、ディスカッションや制作、指導案の立案などを通して保育者としての視点や姿勢を養う。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 保育実践に学ぶとは？</li> <li>3. 各自の興味のあるテーマについて①</li> <li>4. 各自の興味のあるテーマについて②</li> <li>5. 各自の興味のあるテーマについて③</li> <li>6. 各自の課題の発表</li> <li>7. 演習①</li> <li>8. 演習②</li> <li>9. 施設見学①</li> <li>10. 演習③</li> <li>11. 演習④</li> <li>12. 施設見学②</li> <li>13. 演習⑤</li> <li>14. 発表</li> <li>15. まとめ</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……特に指定なし <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席、受講態度、個別発表による総合評価		

科 目	ゼミナール I (world dance seminar)	講 師	中村 悦子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会のDANCE</li> <li>・自分の体を知る</li> <li>・子どものDANCEから学ぶ</li> <li>・振付してみよう！発表してみよう！</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション (授業の進め方や授業態度)</li> <li>2. 体を知る</li> <li>3. 体の動きを知る</li> <li>4. }</li> <li>5. }</li> <li>6. }</li> <li>7. }</li> <li>8. } 子どもCHEER DANCEから学ぶ</li> <li>9. }</li> <li>10. }</li> <li>11. }</li> <li>12. }</li> <li>13. } 作品製作</li> <li>14. }</li> <li>15. 作品発表</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……特に指定なし <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	授業態度、出欠席、実技作品の評価		



科 目	ゼミナールⅠ（造形ゼミ）	講 師	なかむら しんいちろう
授業目標	<p>保育造形に関するテーマを選び研究・課題制作を行う。そしてレポートにまとめ発表し提出する。テーマは将来の現場指導に活きる内容とする。</p> <p>また造形分野に秀でた保育者を目指し、その造形力を向上させるような真摯な態度で研究する。</p> <p>*制作に必要な全材料は各自で負担し準備する。また展覧会見学等で様々な美術に触れレポートを提出する。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 前提講義「造形」についての研究テーマを考察。十分な調べ学習を行う。</li> <li>2. 研究テーマ案の発表と検討。講師によるテーマのチェック（個別）</li> <li>3. 研究テーマの再案の発表と再検討。テーマ決定。計画立案。</li> <li>4. 制作(1)各自、研究テーマについて、スケジュールに従って確実に進行。</li> <li>5. 制作(2)制作進行</li> <li>6. 制作(3)中間チェック1（個別相談）</li> <li>7. 制作(4)制作進行</li> <li>8. 制作(5)中間発表（全体）進行状況の確認と相談。</li> <li>9. 制作(6)制作進行</li> <li>10. 制作(7)中間チェック2（個別相談）</li> <li>11. 制作(8)制作進行</li> <li>12. 制作(9)仕上げと研究発表に向けた準備。</li> <li>13. 発表(1)研究テーマの発表（前半）</li> <li>14. 発表(2)研究テーマの発表（後半）</li> <li>15. まとめと総評。レポート提出。</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	<p>授業態度を重視。必要な用具・材料の準備、授業内での作品の提出及び完成度、学習意欲、制作に対する真摯な姿勢、適切な片付け、まとめノートの提出、遅刻早退出席数による総合的評価</p>		

科 目	児童厚生概論	講 師	荒田 直樹
授業目標	<p>児童厚生施設は、乳幼児から中高生まで、自らの意志で来館する（自由来館）施設である。近年社会から施設への期待が高まってきている。そこで働く職員は、子ども達にどう理解されるか？ その中身が問われている。ソーシャルワーカーとしての視点が欲しい。</p> <p>来館する子どもをどう理解し接するか？という問題を、子どもの視点で見たい。子どもに「寄り添う」こと、「支える」ことは子どもが“そう”思わない限り成立しないのである。この授業では、子どもから多くのことを学ぶ大人の姿勢を問い続けていきたい。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 総論（児童福祉法40条）VTR「ひげおやじと子どもたち」</li> <li>2. 総論 大阪釜ヶ崎 民設民営の児童館「こどもの里」</li> <li>3. 子どもの権利条約から</li> <li>4. 民間の学童クラブの事例</li> <li>5. 相談活動の事例研究</li> <li>6. 相談活動の発見する相談</li> <li>7. 思春期の若者との出会い</li> <li>8. プレーパーク事業と子どもの居場所</li> <li>9. プレーパーク事業事例に学ぶ</li> <li>10. いのちと人権を考える①</li> <li>11. いのちと人権を考える②</li> <li>12. ソーシャルワーカーとは</li> <li>13. ソーシャルワーカーとしての職員</li> <li>14. 子どもの居場所づくり チャイルドライン</li> <li>15. まとめ</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし 授業内で資料配布</p> <p>参考書……授業内で紹介する</p>		
評 価 の 方 法	<p>受講態度、出席重視、ミニレポート、総合評価</p>		



科 目	保育あそび論	講 師	荒巻 シャケ
授業目標	目標1 保育にいかせる遊びの引き出しを増やす。 目標2 自分自身が遊びを楽しむ。 目標3 遊びを変化させたり、発展させる柔軟性を身に着ける。 目標4 お互いに学びあい、人によって遊びの視点や感じ方が違うことにも気づく。 目標5 様々な保育の考え方があることを知る。		
授 業 の 画	1. あそび歌①（実際にあそび歌で遊びながら楽しさを体験する） 2. あそび歌②（替え歌など創作して、発表する） 3. あそび歌③（言葉遊び歌） 4. 物遊び①（バンダナを使ってゲーム遊び） 5. 物遊び②（バンダナゲーム創作発表） 6. 物遊び③（新聞紙で遊んでみよう） 7. 物遊び④（あやとりひもで遊んでみよう） 8. 物語創作（カタルタを使って遊んでみよう） 9. ゲーム遊び①（いろいろなカードゲームを体験してみよう） 10. ゲーム遊び②（9回のゲーム遊びを振り返って、ルールを工夫してみよう） 11. 映像で見る（りんごの木のミーティングの映像を見て考えてみよう） 12. 遊びとは？①（遊びとは？をテーマにグループでとことん語り合う） 13. 遊びとは？②（グループごとに発表準備） 14. 遊びとは？③（グループごとに発表準備） 15. まとめ（遊びとは？のグループ発表をする）		
教科書 及び 参考書	教科書……特に指定なし 参考書……授業ごとに紹介します		
評 価 の 方 法	受講態度・出席・レポート・実演での総合評価		

科 目	創作うたあそび	講 師	菅野 清子
授業目標	1 歌うことに興味を持ち、音楽を通して、子ども達とのコミュニケーションツールに必要な要素であることを学習する。 2 あそびうたには、毎日の日常生活や環境、自然現象などが大きく関係していることを理解する。 3 日頃から、小さなことに気づいたり、子ども達を観察するなど、歌のヒントになる出来事を探すことができるようになる。 4 歌に合った表現力を研究することができるようになる。		
授 業 の 画	1. はじめまして こんにちは！歌ってあいさつ オリエンテーション 2. うた遊びの体験 どうなうた遊びを知っている？ 3. うた遊びの特徴を調べよう（テーマ、リズム、歌詞、季節…） 4. 子ども達に人気のうた遊びを、替え歌で歌ってみよう。 5. オノマトペを取り入れて歌ってみよう。 6. 実際にあるうたに、表現を付けて歌ってみよう。 7. 創作スキル① 歌詞を考える。 8. 創作スキル② メロディやリズムを考える。 9. 創作スキル③ 身体表現や踊りを取り入れる。 10. 創作スキル④ うたの内容に合わせた、声の使い方を研究しよう。声の3原則 11. 創作活動① グループワーク 12. 創作活動② グループワーク 13. 創作活動③ グループワーク 14. グループ発表会 15. まとめとふりかえり		
教科書 及び 参考書	教科書……特に使用しない 参考書……『NHKおかあさんといっしょ テキスト』他 随時紹介		
評 価 の 方 法	受講態度30% 創作研究レポート30% 発表40%		

科 目	国語	講 師	草野 明子
授業目標	<p>児童文学にはそれが書かれた時代や作者の子ども観が反映されている。そのため作品を通して、各自の子ども観を広げ、深めることができる。ただ表面をなぞって「かわいらしい」「やさしい」といった言葉で片付けるのではない、より深い読みの力をつけたい。そのために、テキストで日本の児童文学の概要を学び、取り上げられている作品を一作でも多く実際に読み、読書の楽しみを知り、文学の言葉を味わえる大人としてそれぞれの現場に立てるよう、本講義を生かしてほしい。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス・レポートの書き方</li> <li>2. 児童文学とは何か</li> <li>3. 伝承文芸</li> <li>4. 絵本</li> <li>5. 幼年童話</li> <li>6. 巖谷小波・小川未明</li> <li>7. 千葉省三・浜田広介</li> <li>8. 宮沢賢治・新美南吉</li> <li>9. 現代児童文学の成立</li> <li>10. 60年代の児童文学—いぬいとみこ・佐藤さとる</li> <li>11. “ ” —松谷みよ子・古田足日</li> <li>12. 戦争児童文学</li> <li>13. 児童文学とジェンダー</li> <li>14. 試験</li> <li>15. 試験解説</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……併修テキスト『アプローチ児童文学』翰林書房</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	レポート二本、試験、授業態度		

科 目	運動生理学	講 師	担当講師
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 運動生理学の基礎的知識を得る。</li> <li>2. 運動生理学的観点から見た幼児と大人の差について理解を深める。</li> <li>3. 上記1、2の保健現場への応用方法について考えられるようになる。</li> </ol>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション 体力とは何か</li> <li>2. 骨の発育・発達 骨の仕組み</li> <li>3. 筋肉の発育・発達 筋肉の仕組み</li> <li>4. 神経の働き</li> <li>5. 運動時のからだの働き</li> <li>6. 動作の発育・発達</li> <li>7. 運動に必要なエネルギー</li> <li>8. 運動と食事</li> <li>9. 運動に影響する環境要因</li> <li>10. 運動時のリスクマネジメント</li> <li>11. 運動能力検査・評価</li> <li>12. 運動指導</li> <li>13. 授業の復習</li> <li>14. 筆記試験</li> <li>15. 試験の解説</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	出席点（40％）＋筆記試験（60％）		

科 目	リズム・ダンスあそび	講 師	明尾 真弓
授業目標	リズムに誘発され、リズムに乗って踊る楽しさは人間が生まれながらに持っている「律動の快感」に根ざしており、これがリズムダンスの「踊る原点」としての重要な側面である。この授業では受講生自らが様々なリズム・ダンスを体験、創作、発表を通じ、リズムを身体で感じ表現することの喜びを味わうとともに、保育に生かす方法を考え出せるようになってほしい。また、ダンスに必要な柔軟性、瞬発力、基礎体力も養っていく。		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. ストレッチと身体づくり</li> <li>3. リズムあそび①</li> <li>4. リズムあそび②</li> <li>5. リズムダンスあそび①</li> <li>6. リズムダンスあそび②</li> <li>7. リズムダンスあそび③</li> <li>8. リズムダンスあそび④</li> <li>9. リズムダンス創作①選曲</li> <li>10. リズムダンス創作②振付、構成</li> <li>11. リズムダンス創作③振付、構成</li> <li>12. リズムダンス創作④仕上げ</li> <li>13. 発表と指導演習①</li> <li>14. 発表と指導演習②</li> <li>15. まとめ</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……特に指定なし <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	受講態度、出席、課題の成果等による総合評価		

科 目	運動あそび	講 師	松森 照幸
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動あそびのねらいと意義を学びます。</li> <li>・各年齢発達に合わせた指導方法を学びます。</li> <li>・実際に身体を動かして、様々な運動あそびを身につけます。</li> <li>・運動あそびの導入―展開―まとめを実際に発表します。</li> <li>・運動あそびの指導案を作成します。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 運動あそびのねらいと意義</li> <li>2. ふれあい運動あそび</li> <li>3. 集まりっこ運動あそび</li> <li>4. 新聞紙あそび</li> <li>5. ロープあそび</li> <li>6. 鬼ごっこの数々を学びます</li> <li>7. 組体操あそび</li> <li>8. マット運動</li> <li>9. 巧技台を使った運動あそび</li> <li>10. なわとび遊び</li> <li>11. ジャンケン遊び</li> <li>12. 新聞でサッカー</li> <li>13. 輪なげで運動あそび</li> <li>14. 運動あそびの指導案作成</li> <li>15. ふり返りとまとめ</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……授業時にその都度紹介します <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、レポート、ミニテストetcで総合評価します		

科 目	音楽表現	講 師	鈴木 祥子
授業目標	<p>前半は「手遊び歌」を通して、音楽に合わせて体を動かす楽しさを伝えると同時に、子ども達のリズムの揃え方を学ぶ。 後半は、それぞれの楽器の基礎知識・管理の仕方を理解し、アンサンブルの実践をし、それを子ども達にどう伝えるかを考える。</p>		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. なかなかホイ 他4曲</li> <li>2. 簡単伴奏、じゃがいも芽だした 他4曲</li> <li>3. にわとり数えうた 他4曲</li> <li>4. いっぽんばし 他3曲</li> <li>5. まえにだし 他3曲</li> <li>6. てんぐのはな 他3曲</li> <li>7. 簡単指揮、かえるのうた</li> <li>8. これくらいのおべんとうばこ 他2曲</li> <li>9. あら どこだ 他2曲</li> <li>10. クラベス、木魚、ウッドブロック</li> <li>11. カスタネット、鈴、タンバリン</li> <li>12. 大だいこ、小だいこ、トライアングル</li> <li>13. 木琴</li> <li>14. 全体のまとめ</li> <li>15. 試験（実技・筆記）</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……『指あそび・手あそび100』チャイルド社 参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	受講態度と試験の総合評価		

科 目	保育表現技術・ピアノV	講 師	上田 亜津子・鈴木 祥子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノの演奏技術の向上（バイエル終了～他の楽曲へ）。</li> <li>・子どものうたを大きな声で、楽しく弾き歌いできるようにする。</li> <li>・実習・採用試験に向けての準備・レパートリー作り。</li> <li>・保育現場で子どもたちと生き生きと音楽表現を楽しめる力をつける。</li> </ul>		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各学生のレベルの把握と課題決定</li> <li>2. 個人レッスン</li> <li>3.       〃</li> <li>4.       〃</li> <li>5.       〃</li> <li>6.       〃</li> <li>7.       〃</li> <li>8.       〃</li> <li>9.       〃</li> <li>10.      〃</li> <li>11.      〃</li> <li>12.      〃</li> <li>13.      〃</li> <li>14.      〃                   : 実技試験発表曲の徹底練習</li> <li>15. 実技試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……1、2年次に使用したもの及び担当講師の指定するもの 参考書……『始めよう！弾き歌い』</p>		
評 価 の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験による総合評価		

科 目	保育表現技術・音楽リズム	講 師	明尾 真弓
授業目標	ダンス、歌あそび、運動あそび等、様々なあそびを実習し、受講者自身も楽しみながらスキルアップしていく。さらに、後半はそれらに応用し劇をつくり、展開する力、友達と協力しながらひとつのものを作りあげていく力を養っていく。また、毎時間ストレッチ等を行い、受講者の体力維持・増強を図っていく。		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. }</li> <li>3. } ①リズム・ダンスあそび、創作</li> <li>4. } ②歌あそび、手あそび、音あそび、創作</li> <li>5. } ③表現あそび、創作</li> <li>6. } ④運動あそび</li> <li>7. } ①～④を組み合わせで行う</li> <li>8. }</li> <li>9. } 指導計画の作成・指導演習</li> <li>10. }</li> <li>11. }</li> <li>12. } 劇あそび</li> <li>13. } グループに分かれての創作活動</li> <li>14. } 絵本を基につくって演じ、発表する</li> <li>15. }</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……特に指定なし <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	受講態度（積極的に主体となって活動できたか、等）、出席、課題の成果等による総合評価		

科 目	保育表現技術・ピアノⅥ	講 師	上田 亜津子・国友 真知子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノの演奏技術の向上（バイエル終了～他の楽曲へ）。</li> <li>・子どものうたを大きな声で、楽しく弾き歌いできるようにする。</li> <li>・実習・採用試験に向けての準備・レパートリー作り。</li> <li>・保育現場で子どもたちと生き生きと音楽表現を楽しめる力をつける。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各学生のレベルの把握と課題決定</li> <li>2. 個人レッスン</li> <li>3.       〃</li> <li>4.       〃</li> <li>5.       〃</li> <li>6.       〃</li> <li>7.       〃</li> <li>8.       〃</li> <li>9.       〃</li> <li>10.       〃</li> <li>11.       〃</li> <li>12.       〃</li> <li>13.       〃</li> <li>14.       〃                   : 実技試験発表曲の徹底練習</li> <li>15. 実技試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……1、2年次に使用したもの及び担当講師の指定するもの <b>参考書</b> ……『始めよう！弾き歌い』		
評 価 の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験による総合評価		



科 目	教材造形基礎	講 師	なかむら しんいちろう
授業目標	<p>教材とは学習の材料（学習内容及び具体的材料）を指す。様々な素材に触れ制作し教材の基礎を学ぶ。また保育造形の基礎造形力のレベルアップを目指す。</p> <p>学生各自は、思いを込めて表現し造形の楽しさを体感する。また一連の制作過程から保育士と幼児の両方の立場を経験する。そしてどのように幼児の感性を育てていくかを考え、自らの保育造形感を養う。美術館で絵本原画展鑑賞を実施予定。</p> <p>*制作の進行状況を考慮し順序や内容を適宜変更する。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 前提講義。線・丸・点。いろいろな線を描く。幼児の造形活動の特徴とは。</li> <li>2. 工作での発達過程に応じた造形指導とは。ぴよんぴよんカエルとトンボを作る。</li> <li>3. 一枚の紙でできること。素材の可塑性とは。はじき絵とにじみ絵。</li> <li>4. 紙素材の研究。ヘビやハロウインのカボチャを作る。</li> <li>5. コウモリ・ネコ・キノコ・ミノムシを作る。紙をちぎる、折る、丸める。</li> <li>6. 遊べる工作（伝統的な手作りおもちゃの制作）</li> <li>7. 前回の工作を用いた遊び、公園での風景スケッチ、素材集め（枝や落ち葉拾い）</li> <li>8. 木の実や落ち葉等の自然素材を組み合わせた、絵画や工作の作品制作。</li> <li>9. 動く工作作品（割りピンを使った動物制作）</li> <li>10. グループによる季節の壁面制作1：内容を相談し検討、決定後、制作計画を立てる。</li> <li>11. 壁面制作2：個々に展示する作品の制作。</li> <li>12. 壁面制作3：グループで展示する舞台の制作。</li> <li>13. 壁面制作4：装飾し、完成。全体に向けて、制作意図などの発表を行う。</li> <li>14. 作品集制作。これまでの作品を一冊のノートにまとめる。</li> <li>15. 製本。ノート提出。まとめ。</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評価の 方 法	<p>授業態度を重視。必要な用具・材料の準備、授業内での作品の提出及び完成度、学習意欲、制作に対する真摯な姿勢、適切な片付け、まとめノートの提出、遅刻早退出席数による総合的評価</p>		

科 目	造形演習Ⅱ	講 師	なかむら しんいちろう
授業目標	<p>これまで学んだ基礎力を応用し、更に多種多様な画材を用いて課題制作を行い、造形表現の理解を深める。幼児期の絵画技法の特徴を実践を通して理解し、遊びのなかの造形を体験する。</p> <p>また自らの絵画表現における造形感、そして理解力、技術力、応用力をより養う。更に将来の現場指導で実践可能な制作を行い、自信を持って実習に向かえるように準備する。</p> <p>*制作の進行状況を考慮し順序や内容を適宜変更する。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 前提講義。造形表現の意義と特徴。絵画制作のウォーミングアップ。</li> <li>2. 絵画技法を応用した工作。幼児の造形活動の特徴を理解する。</li> <li>3. 基本図形の応用。素材の研究。保育造形の指導のポイント。</li> <li>4. 色の復習（色相環、色相、明度、彩度、反対色、近似色）色彩効果を活用した絵画制作。</li> <li>5. はり絵で虹の絵を描く。基本的な保育画材の種別と特徴を知り活用方法を研究する。</li> <li>6. 絵画の発達段階の復習。動物を描く。幼児画の疑似体験を行い理解を深める。</li> <li>7. 幼児画の特徴の復習1。絵本や紙芝居の一場面を作る。</li> <li>8. 幼児画の特徴の復習2。描画材の可能性を探り応用表現に挑戦する。</li> <li>9. モダンテクニックの応用。保育画材を使用し幼児の発達過程に応じた造形指導を学ぶ。</li> <li>10. 遊べるおもちゃの制作1：内容を相談、検討し、必要材料や制作プランを立てる。</li> <li>11. 遊べるおもちゃの制作2：役割分担し協力して制作する。</li> <li>12. 遊べるおもちゃの制作3：作品を仕上げる。</li> <li>13. 遊べるおもちゃの制作4：模造紙に飾り付けを行い完成。グループ発表をし壁面展示を行う。</li> <li>14. これまでの制作内容を一冊のノートにまとめ製本する。</li> <li>15. まとめ、ノート提出</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評価の 方 法	<p>授業態度を重視。必要な用具・材料の準備、授業内での作品の提出及び完成度、学習意欲、制作に対する真摯な姿勢、適切な片付け、まとめノートの提出、遅刻早退出席数による総合的評価</p>		





